平成25年8月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成25年7月9日

上場会社名　日創プロニティ株式会社　　上場取引所　福
コード番号　3440　URL　http://www.kakou-nisso.co.jp/
代表者　(役職名) 代表取締役社長　(氏名) 石田　利幸
問合せ先責任者 (役職名) 取締役経営企画室長　(氏名) 西川　新二　TEL 092-552-3749

四半期報告書提出予定日　平成25年7月12日
配当支払開始予定日　―
四半期決算補足説明資料作成の有無　：　無
四半期決算説明会開催の有無　：　無

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年8月期第3四半期の業績(平成24年9月1日～平成25年5月31日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年8月期第3四半期	4,846	297.7	2,140	―	2,142	―	1,227	―
24年8月期第3四半期	1,218	△12.1	△2	―	△4	―	△4	―

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年8月期第3四半期	735.04	727.32
24年8月期第3四半期	△2.72	―

(注)当社は、平成25年3月1日付で普通株式1株に付き200株の割合で株式分割を行っております。前事業年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定し、1株当たり四半期純利益金額又は1株当たり四半期純損失金額及び潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額を算定しております。

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
25年8月期第3四半期	4,994	2,096	42.0
24年8月期	2,807	880	31.4

(参考) 自己資本　25年8月期第3四半期　2,096百万円　24年8月期　880百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年8月期	―	0.00	―	7.50	7.50
25年8月期	―	0.00	―		
25年8月期(予想)				57.50	57.50

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無　：　無

当社は、平成25年3月1日付で普通株式1株に付き200株の割合で株式分割を行っております。そのため、平成25年8月期(予想)の年間配当金については、当該株式分割の影響を考慮して記載しております(期末配当の内訳　普通配当7円50銭 記念配当50円00銭)。また、前事業年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定し、平成24年8月期の年間配当額を記載しております。当該株式分割の影響を加味し、遡及修正を行う前の配当額は1,500円であります。

3. 平成25年 8月期の業績予想(平成24年 9月 1日～平成25年 8月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	6,000	243.6	2,600	―	2,600	―	1,400	―	833.33

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無　：　無

(注)当社は、平成25年3月1日付で普通株式1株に付き200株の割合で株式分割を行っております。1株当たり当期純利益については、当該株式分割の影響を考慮して計算しております。詳細は、次ページ「※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項」をご覧ください。

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 ： 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 ： 無
② ①以外の会計方針の変更 ： 無
③ 会計上の見積りの変更 ： 無
④ 修正再表示 ： 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	25年8月期3Q	1,680,000 株	24年8月期	8,400 株
② 期末自己株式数	25年8月期3Q	8,800 株	24年8月期	52 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	25年8月期3Q	1,669,689 株	24年8月期3Q	8,348 株

(注)平成25年3月1日付で普通株式1株に付き200株の割合で株式分割し、発行済株式総数が1,671,600株増加しております。

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続きは終了しております。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(業績予想の適切な利用に関する説明)

上記の業績予想の数値は本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成されたものであり、多分に不確定要素を含んでおります。実際の業績等は業況の変化等の今後の要因によって予想数値と異なる場合があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信【添付資料】P.3「業績予想に関する定性的情報」をご覧下さい。

(その他特記事項)

当社は、平成25年3月1日付で普通株式1株に付き200株の割合で株式分割を行っております。当該株式分割の影響を加味し、遡及修正を行う前の1株当たり四半期(当期)純利益につきましては以下のとおりであります。
基準日:平成24年8月期 第3四半期末△544円52銭 期末1,890円43銭

○添付資料の目次

１．当四半期決算に関する定性的情報 …… 2
（１）経営成績に関する定性的情報 …… 2
（２）財政状態に関する定性的情報 …… 2
（３）業績予想に関する定性的情報 …… 3
２．四半期財務諸表 …… 4
（１）四半期貸借対照表 …… 4
（２）四半期損益計算書 …… 6
第３四半期累計期間 …… 6
（３）四半期キャッシュ・フロー計算書 …… 7
（４）継続企業の前提に関する注記 …… 8
（５）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 …… 8

１．当四半期決算に関する定性的情報

（１）経営成績に関する定性的情報

当第３四半期累計期間におけるわが国経済は、昨年末に発足した新政権による国内経済対策の効果を背景に、全体として回復基調にて推移しました。

当社の属する金属加工業界におきましては、平成24年７月に再生可能エネルギーの固定価格買取制度が施行以降、太陽光発電関連製品に対する需要が拡大いたしました。

当第３四半期累計期間において、平成25年４月に再生可能エネルギー固定買取価格が、37.8円/ｋWに減額となった影響が懸念されましたが、４月以降につきましても全国各地のメガソーラー（大規模太陽光発電所）の建設計画が進められています。

当社におきましては、メガソーラー向け太陽電池アレイ支持架台（以下、メガソーラー向け架台とする。）の受注、生産に重点的に取り組んでまいりました。また、当社は受注獲得のための営業力の強化に重点的に取り組んでおり、「第４回太陽光発電システム施工展」に出展するなど、本社、東京及び大阪営業所の営業活動を活性化して全国に販路を拡大したことにより、当社独自の設計織込み済みのメガソーラー向け架台が評価をいただき、当第３四半期累計期間におきましては51件のメガソーラー向け架台を受注いたしました。そのほか、積極的な顧客開拓に注力した結果、中・小規模の産業向け架台及びソーラーネオポートの受注を獲得いたしました。太陽光発電関連製品以外では、スライドデッキ、手術室向け輻射パネル、仮設住宅用外壁パネルなど別注加工品・パネル類の販売に注力いたしました。

以上の結果、太陽光発電関連製品を含むオーダー加工品の売上高は、4,269,237千円（前年同期比447.7%増）となりました。企画品の売上高は、波板・折板を中心に営業を強化しましたが、326,695千円（前年同期比1.7%減）となりました。

結果といたしまして、当第３四半期累計期間における売上高は、4,846,478千円（前年同四半期比297.7%増）、営業利益は2,140,959千円（前年同四半期は2,505千円の営業損失）、経常利益は2,142,379千円（前年同四半期は4,494千円の経常損失）、四半期純利益は1,227,282千円（前年同四半期は4,545千円の四半期純損失）となりました。

（２）財政状態に関する定性的情報

①資産、負債及び純資産の状況

（資産）

当第３四半期会計期間末における総資産は、前事業年度末と比較して2,186,975千円（77.9%）増加して4,994,071千円となりました。

前事業年度末と比較し、流動資産は2,113,913千円（124.1%）増加し3,817,504千円、固定資産は73,061千円（6.6%）増加し1,176,567千円となりました。

流動資産の増加の主な要因は、原材料及び貯蔵品が10,908千円減少したことに対して、現金及び預金が1,016,891千円、受取手形及び売掛金が1,011,678千円、仕掛品が18,860千円増加したこと等によるものであります。

固定資産の増加の主な要因は、建設仮勘定が60,110千円増加したこと等によるものであります。

（負債）

当第３四半期会計期間末における負債合計は、前事業年度末と比較して970,975千円（50.4%）増加し2,897,873千円となりました。

前事業年度末と比較し、流動負債は995,462千円（79.5%）増加し2,246,977千円、固定負債は24,487千円（3.6%）減少し650,896千円となりました。

流動負債の増加の主な要因は、短期借入金が220,000千円、1年内返済予定の長期借入金が15,650千円減少したことに対し、未払法人税等が958,784千円、買掛金が112,534千円増加したこと等によるものであります。

固定負債の減少の主な要因は、長期借入金が24,452千円減少したこと等によるものであります。

（純資産）

当第３四半期会計期間末における純資産合計は、前事業年度末と比較して1,216,000千円（138.2%）増加し2,096,197千円となりました。

純資産の増加の主な要因は、利益剰余金が1,214,760千円増加したことによるものであります。

②キャッシュ・フローの状況

当第３四半期累計期間における現金及び現金同等物(以下「資金」という)は、前事業年度末に比べ998,790千円増加し、1,862,810千円となりました。

また、当第３四半期累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第３四半期累計期間において営業活動の結果獲得した資金は1,533,997千円(前年同四半期は376,583千円の獲得)となりました。

これは主に、売上債権の増加1,011,678千円、たな卸資産の増加14,590千円がありましたが、税引前四半期純利益の計上2,142,375千円、仕入債務の増加112,534千円により資金が増加したことによるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第３四半期累計期間において投資活動の結果使用した資金は263,882千円(前年同四半期は72,734千円の使用)となりました。

これは主に、有形固定資産の取得による支出215,116千円により資金が減少したことによるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第３四半期累計期間において財務活動の結果使用した資金は271,324千円(前年同四半期は160,767千円の使用)となりました。

これは主に、長期借入による収入100,000千円がありましたが、短期借入金の純減額220,000千円、長期借入金の返済による支出140,102千円により資金が減少したことによるものであります。

(３) 業績予想に関する定性的情報

当社の通期業績予想につきましては、メガソーラー向け及び中・小規模の産業向け架台の売上が堅調に推移していること、また、現時点における太陽光関連製品を含むオーダー加工品の受注残高の状況などから、売上高及び各利益とも通期業績が予想数値を上回る見通しであります。

詳細につきましては、平成25年６月11日公表いたしました「平成25年８月期通期業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

２．四半期財務諸表

（１）四半期貸借対照表

（単位：千円）

	前事業年度 （平成24年８月31日）	当第３四半期会計期間 （平成25年５月31日）
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	987,080	2,003,972
受取手形及び売掛金	308,648	1,320,327
商品及び製品	31,409	38,047
仕掛品	97,606	116,467
原材料及び貯蔵品	264,045	253,137
前払費用	2,279	2,708
繰延税金資産	10,722	74,297
未収入金	211	－
その他	5,086	22,382
貸倒引当金	△3,500	△13,835
流動資産合計	1,703,590	3,817,504
固定資産		
有形固定資産		
建物（純額）	391,616	374,500
構築物（純額）	7,522	6,347
機械及び装置（純額）	458,624	444,101
車両運搬具（純額）	514	437
工具、器具及び備品（純額）	8,923	25,308
土地	218,270	218,270
建設仮勘定	－	60,110
有形固定資産合計	1,085,472	1,129,075
無形固定資産	13,241	40,278
投資その他の資産		
破産更生債権等	10,689	2,903
その他	4,791	7,213
貸倒引当金	△10,689	△2,903
投資その他の資産合計	4,791	7,213
固定資産合計	1,103,505	1,176,567
資産合計	2,807,095	4,994,071

（単位：千円）

	前事業年度 （平成24年８月31日）	当第３四半期会計期間 （平成25年５月31日）
負債の部		
流動負債		
買掛金	83,354	195,889
短期借入金	790,000	570,000
1年内返済予定の長期借入金	173,456	157,806
未払法人税等	23,710	982,494
賞与引当金	－	26,036
その他	180,993	314,750
流動負債合計	1,251,514	2,246,977
固定負債		
長期借入金	330,826	306,374
退職給付引当金	31,494	35,209
長期未払金	300,200	300,200
繰延税金負債	12,727	8,976
その他	136	136
固定負債合計	675,383	650,896
負債合計	1,926,898	2,897,873
純資産の部		
株主資本		
資本金	295,000	295,000
資本剰余金	215,000	215,973
利益剰余金	371,932	1,586,692
自己株式	△1,734	△1,467
株主資本合計	880,197	2,096,197
純資産合計	880,197	2,096,197
負債純資産合計	2,807,095	4,994,071

（２）四半期損益計算書
（第３四半期累計期間）

（単位：千円）

	前第３四半期累計期間 （自 平成23年９月１日 至 平成24年５月31日）	当第３四半期累計期間 （自 平成24年９月１日 至 平成25年５月31日）
売上高	1,218,752	4,846,478
売上原価	916,153	2,212,263
売上総利益	302,599	2,634,215
販売費及び一般管理費	305,104	493,255
営業利益又は営業損失（△）	△2,505	2,140,959
営業外収益		
受取利息	132	239
受取家賃	852	1,406
受取補償金	30	3,598
貸倒引当金戻入額	3,664	331
その他	1,223	2,211
営業外収益合計	5,902	7,786
営業外費用		
支払利息	7,891	6,367
営業外費用合計	7,891	6,367
経常利益又は経常損失（△）	△4,494	2,142,379
特別損失		
固定資産除却損	54	3
特別損失合計	54	3
税引前四半期純利益又は税引前四半期純損失（△）	△4,548	2,142,375
法人税、住民税及び事業税	1,000	982,419
法人税等調整額	△1,002	△67,325
法人税等合計	△2	915,093
四半期純利益又は四半期純損失（△）	△4,545	1,227,282

（３）四半期キャッシュ・フロー計算書

（単位：千円）

	前第３四半期累計期間 （自 平成23年９月１日 至 平成24年５月31日）	当第３四半期累計期間 （自 平成24年９月１日 至 平成25年５月31日）
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期純利益又は税引前四半期純損失（△）	△4,548	2,142,375
減価償却費	103,113	109,917
貸倒引当金の増減額（△は減少）	△3,664	2,548
退職給付引当金の増減額（△は減少）	3,616	3,714
賞与引当金の増減額（△は減少）	9,297	26,036
受取利息及び受取配当金	△132	△239
支払利息	7,891	6,367
固定資産除却損	47	3
売上債権の増減額（△は増加）	367,447	△1,011,678
たな卸資産の増減額（△は増加）	△4,572	△14,590
仕入債務の増減額（△は減少）	△19,617	112,534
未払費用の増減額（△は減少）	△20,071	40,722
その他	7,170	155,816
小計	445,978	1,573,528
利息及び配当金の受取額	132	239
利息の支払額	△7,923	△6,117
法人税等の支払額	△61,603	△33,653
営業活動によるキャッシュ・フロー	376,583	1,533,997
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△109,486	△92,245
定期預金の払戻による収入	50,849	74,144
有形固定資産の取得による支出	△3,101	△215,116
無形固定資産の取得による支出	△8,195	△30,664
投資有価証券の取得による支出	△2,800	－
投資活動によるキャッシュ・フロー	△72,734	△263,882
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額（△は減少）	△325,000	△220,000
長期借入れによる収入	300,000	100,000
長期借入金の返済による支出	△119,268	△140,102
自己株式の売却による収入	－	1,240
配当金の支払額	△16,499	△12,462
財務活動によるキャッシュ・フロー	△160,767	△271,324
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	143,081	998,790
現金及び現金同等物の期首残高	538,334	864,019
現金及び現金同等物の四半期末残高	681,416	1,862,810

（４）継続企業の前提に関する注記
該当事項はありません。

（５）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記
該当事項はありません。